

令和4年12月23日

所 属	尼崎市立尼崎双星高等学校	高校教育課
担当者	藤井 晴基	中道 隆広
電 話	06-6491-7000	06-4950-4710

尼崎双星高校の情報技術部が市長を表敬訪問 ロボカップアジア大会(オンライン)で優勝しました

尼崎双星高校の情報技術部の3人チーム「Sokyu」(そうきゅう)が、シンガポールで開催された最先端のロボット技術を競う「RoboCup Asia Pacific 2022 CoSpace League(Finals)」のRescue Simulation (CoSpace)に日本代表としてオンラインで参加、見事に優勝を果たしました。その報告のため、市長表敬訪問を行います。なお、ロボカップの国際大会は「アジア大会」と「世界大会」が開催されていますが、本年度より「Rescue Simulation (CoSpace)」についてはアジア大会のみの実施となったため、世界中からの参加があり、実質世界大会として開催されました。



ロボカップアジア大会で優勝した「Sokyu」の3名

1 表敬訪問詳細

- ・日 時 12月28日(水) 午後1時00分～1時30分
- ・場 所 尼崎市役所本庁舎南館2階 市長室
- ・訪問者 生徒3名、校長1名、顧問1名、ロボカップジュニア・ジャパン理事1名 計6名

2 尼崎双星高校情報技術部

3年生4名、2年生2名、1年生2名の合計8名で活動しています。クラブ活動は、顧問の藤井晴基先生の指導のもと、3Dプリンターを用いたオリジナルロボットの製作や、プログラミングを中心におこなっており、ものづくりを通して「考える力」「工夫する力」「集中力」などを高めることを目標にしています。これまでに2014年ロボカップ世界大会(ブラジル)でサッカー部門特別賞を受賞、2019年アジア(ロシア)大会(モスクワ)・アジア(中国天津)大会に出場しRescue Simulation部門「優勝」、2021年に世界大会サッカーオープン及びRescue Simulation部門に出場しRescue Simulation部門で「特別賞受賞」、2021年アジア(あいち)大会では、サッカー及びRescue Simulation部門に出場し、Rescue Simulation部門で「優勝」等の実績があります。

3 ロボカップジュニア

「ロボカップ」は1992年に日本で発足し、ロボットチームが対戦する「サッカー」や、災害時の救助活動を想定した「レスキュー」などの種目があります。1997年には愛知県で初の世界大会がおこなわれ、今は約40カ国で開かれています。ロボカップは、ロボットと人工知能の新しい標準問題として「2050年、人型ロボットでワールドカップ・チャンピオンに勝つ」ことを設定し、その研究過程で生まれる科学技術を世界に還元することを目標としている国際的ロボット競技大会です。

以 上